

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東京工業大学	整理番号	1-2-164
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	進化する創造性教育		
申請単位	大学全体		
申請担当者	小川 浩平		
(取組の概要)			
<p>東京工業大学の“創造性教育”は戦後の「くさび型教育」と呼ばれる全人教育に始まる。</p> <p>その教育目的は、①潜在的創造能力に気付かせ自信を持たせる、②創造性と専門知識を連動させて科学技術者としての資質を向上させる、③未踏の課題に対する挑戦意欲を喚起させる、ことにある。</p> <p>この目的を達成するために、①入学から卒業まで継続した教育理念とカリキュラム編成の下に、②「自ら問題を発見し、自ら学ぶ」授業内容とし、③国際的活動・社会貢献などの新視点を常に取込むことに配慮してきた。</p> <p>教育体系としては、与えられた具体的な目的に対する達成度を競う「競創的創造性育成科目」、与えられた抽象的な目的に学生自身が目標を決めてその達成度を評価する「独創的創造性育成科目」、および創造することの動機付けとなる教養科目や専門科目からなる「基礎的創造性育成科目」を有機的に配置し、これらの実施を組織的に支援している。そして、創造性教育の集大成として学士論文研究を位置づけている。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、東京工業大学が明治 14 年の建学以来目指してきた、ものづくりを主眼に置いた創造性育成の伝統を基礎とした取組です。昭和 56 年の「制御工学設計制作」にはじまる「創造性育成科目」は今日 94 科目の規模にまで進化しつつ発展し、教育実績の顕著な蓄積と、他大学、高専、高校教育等への十分な社会的影響力を確認することができ、高く評価されました。ただし、学部・学科を横断した組織的な取り組みとしては必ずしも十分ではなく、新設の「教育推進室」が十分機能することが求められます。</p>			